

日本共産黨ハ大正十五年十二月山形縣五色温泉ニ於テソノ創立大會ヲ開キ「コンミンテルン」ノ批判ヲ受ケンノ運動ヲ一部修正シ昭和三年二月普選第一次選舉前カラ公然大衆ノ面前ニソノ姿ヲ表ハシ宣傳煽動ヲ開始シタ。

三、労働農民黨ノ結社禁止

労働農民黨ハ右翼、中間團體ノ脱退ニ依リ全ク左翼政黨ト化シ共産黨指導ノ下ニ五法獲得闘争請願運動其他ヲ行フヤウニナリ全ク共産黨ノ大衆團體トシテ活動スルニ至ツタガ昭和三年三月十五日ノ共産黨一斉大檢舉ニ依リ其間ノ消息一層明トナリ 昭和三年四月十日 他ノ大衆團體日本労働組合評議會、全日本無産青年同盟ノ二團體ト共ニ内務大臣ヨリ結社禁止ヲ命ゼラレタ。

結社禁止後元労働農民黨員ニシテ檢舉ノ程度ニ至ラナカツタ急進分子等ハ前黨首大山郁夫、書記長細迫登光等ヲ擁シ直ニ「新黨組織準備會」ヲ擁護シ黨員ノ分散ヲ防止スルト共ニ新黨結成ヘノ宣

傳煽動ニ努メタ。

一方共産黨ト連絡アルコトヲ層シトセナイ元労働農民黨員掛利彦鈴木茂三郎等ハ新黨組織準備會一派ニ反對シ別個ノ政黨組織ニ着手シ昭和三年七月東京及大阪ノ同志ヲ以テ「無産大衆黨」ヲ結成シタガ各地方ニ於テモ元労働農民黨員ニシテ地方的無産政黨ヲ結成スルモノガ續出シタ。

※新黨組織準備會ヲ擁護スル急進分子ハ新黨結成ヘノ宣傳煽動ヲ進メタ結果昭和三年十二月東京本所深川公會堂ニ於テ黨結成大會ヲ開催シタガ結黨ニ先チ内務大臣ヨリ結社禁止ヲ命ゼラレ爾來「政治的自由獲得労働同盟」トシテ運動ヲ繼續シテソノタガ昭和四年四月十六日日本共産黨一斉大檢舉ニ依リソノ中心分子ハ殆んど起訴セラレ全同盟ハ自然的ニ壊滅シタ。

ソノ後政治自由獲得労働同盟ノ残留分子等ハ大山郁夫ヲ黨首ニ立テ共産黨ト連絡ヲ斷テ獨自ノ指導部ヲ持つ政黨ヲ組織スルコトニ